ではないと

步门

可用品

BT 46 17

AAA

株式會社 株式會社

新京日日新聞社 新京日日新聞社 大和 被 樂 也 大和 被 樂

智章 文本 全连 的证

n yn

發行所

清腦

關東軍で授與式擧行

状並に賞詞をそれる
で表出した。
び言常務、森田國通社長、林滿映常務の五氏は禮裝、
時三十分より關東軍司令部に於て擧行された、光梁 成儀を正して出頭棒津軍司令官より別項の如き感謝。浴する滿鐡代表平島理事、廣瀬電々總裁、滿航代表電場、電々、滿航、國通、滿映の民間側五機關に對し

果軍司令官 中二月一日 本津美治郎 成式を中外に宣揚す 軍の庶養する報子と緊密に協力し

のでも である。 である。 である。 である。 である。 ののでり 間でり

支那事變物發するや會社 となり各種の危險を冒した (本) を (本)

一體の送質しに要社

《上海廿六日強國通》鑑隆 報道部廿六日午後四時發表 今北支方面戰況 へ北支方面戰況 「山東半島中央部における残敵精蕩中の海軍航空

國通

から 同年九 に信社

重慶愕然

龍門

陷落對策協

余漢牒に

毎に對しな力を盡して 果を防衛すべしと餓 果を防衛すべしと餓 に対しな力を盡して

D

百日鎮(安徽省場)

四を撃墜

活

施製砂糖活題 結定中結しに開 る定時得いし 注氏に贈呈し次で汪氏より 活氏に贈呈し次で汪氏より が大生は革命を行ふに が大きはせた事はない、 を行はせた事はない、 を行はせた事はない、 をではせた事はない、 をでからなが、 をでからなが、 をではない、 をでいて をでからなが、 をでからない、 をでいて をでい をでいて をでいて をでいな をでいな をでいな をでいな をでいな をでいな をでいな をでい

こはにろ人質日明共善 となこでのに本一を隣 をくれる理能人は内友 遊べてある 選をして来たとこ で唱へだしたので といて来たとこ でので日本

粧道房用

品具具品

全商品景品付聯合大賣出

保上海出七日登

横氏は廿六日午後六時五十分

分八原参議一行を宿舎アスターハウスに訪問、前日來

前の答禮後事變處理に關し

では、人原参議より

旗竿

本

四十

五錢

日交涉

在氏久原参議

を撰擇

新築落

成

月日

治鄉

△吸物椀 (五客1組) …… △金菓子鉢 (1を) …… △金菓子鉢 (1を) …… △倉席膳 (五客分) …… △塗物菓子セット(ケース) △塗物菜子セット(ケース) △塗物菜子セット(ケース) △塗物菜子セット(ケース) 短神錫屠屠屠五四二四棚棚製蘇蘇蘇段段段段

0

日

殺より 11 五

屠器器器台台台重 蘇七五四付付付森 器ツツツ重重重重 揃揃揃箱箱箱

二四二八五三七九 十圓十十十五四五四二 中国国国よ半 999 b

四十七三三圓五圓二十次 圓圓 りり

三二十六十二圓五十五圓五十圓五十圓五十二圓五十二圓五十二 よりり 袋より b

豐富格安御取揃

新春の 御用 品 一切

電③二五四七番

室町(東一條通り

お茶…茶道具 0) 店 事み

話京 ③富二土 町 五 0

望の方は本人御来談を乞ふき仲居さん数名、下働二名及強而增築中の家屋近々落成務 を乞なり、人名刺につ

二十五九九

あるのであります。 あるのであります。

家庭防犯に就

軍司令部に於る感謝狀授與式

(香港廿六日養園通) 重慶 来電に依れば韶園防衛の左 楽電に依れば韶園防衛の左 製前衛たる龍門陷落の瀬に 大の兩日に亘り首脳部會議 ため間惺して緊急對策を協議 とした重 した結果委員長蔣介石の名

先づ窃盗の雑防から申し

に と、所謂居置り强盗の機 ます。「のび」の強防さます。「のび」の強防さ ことであります。 危險でも で、 戸締の主演を以くする。 が第一であります。 それに が第一であります。 それに が、 戸締の注意を光分に れば、 此の犯罪はといって あります。

第盗は所謂泥棒でありませて、第かに他人の物を盗がっている。 素行又は脅迫を加へて、他人の物を盗がする以後を追めることは、先に申した通りであります。この務盗がを通りであります。この務盗がを追めることは、先に申した通りでありますが、之は、各國共通の現象でありました。全犯罪の対し割を占めることは、先に申した通りでありますが、之は、その表のでありますが、之は、

今又もや魔東北方危壊に通

頃を回

職に

してまた感は深

の暮にも進められついは大陸の各地に、

れつ

、との報告に接り

し角隆軍

光りなき

いと比較して見る

のしを領手収費外をてつ子口りへし

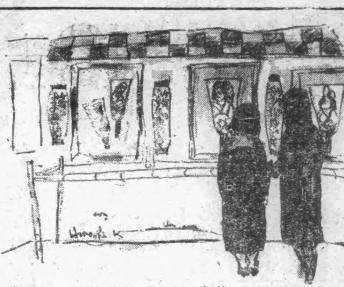
有様とで他職職援助のため

ひたい

日本の政治

5 %

天氏は次の如く談



懸案の家賃統制愈よ軍

さい、来年の正月はデッカイ が子板を持ち扱ひかねた大 小の娘さんがお得さんの鍵 が一ムを賑やかに始めるこ ととなるであらう

な人がーー」と訓ねると、 「奥さん風の人が多いです 百貨店の 大暴れて困つてゐるから何 屋を蹴り破つで怪驚漢が闘 屋を蹴り破つで怪驚漢が闘

末始諸祭儀 冗費を節約し

宝山。商品券

社員魔容存治 C

國防献金

代表派遣 宮崎神宮へも

男子社員募集

総後添仕の一端として時

日本紀元二千六百年に全議を慶祝一色に塗りつぶし日を慶祝一色に塗りつぶし日を慶祝一色に塗りつぶし日をの見た協和精神を見られている。 古希望著は毎日午前中自筆幢帳書持巻米社 あり 子たること 子たること 一十名

十七日本社へ関第五十個を 寄託、同時に城内南大二道 員一同として五十個を寄託 よつて直ちに関東軍を通じ

新京本 部 新京本 部 新京本 部

忙に付御座敷仲居さん募集

飛行塲使用規

が、その他製金の牧受に仕が、その他製金の牧受に仕が、

取締の萬金を捌する事とな 一公布、即日施行した・ 容赦なく關係書類を臨檢し を嗣定、世七日都令を以て 交通部では飛行場使用規則 と共に必要と認むる場合に 則公布

收入其の他詳細に面談の上 年齢二十歳より三十歳位迄の美人の方を敷名

大同大街二〇二(大興ビル内)

②四六二五番

六億六千萬圓

中銀貨幣發行高

探金會礼總會

萬圓、 拂込三千 百六 十萬 萬圓、 拂込三千 百六 十萬 即)の二千萬圓州資決定に 伴ひ來る廿八日午前十時よ り新京本社において臨時株

三谷新牡丹江 省長赴京 三谷新牡丹江省長は廿八日 三谷新牡丹江省長は廿八日

御引受致します 盐 视町三丁目二

電話③六八〇五

株文宮、高林宮、三笠宮 を始め数百名に達する多 ナ 後妻太后陛下を始め奉り 年には各御殿共文武廟官 智 と興恵奉公の民草の上を 参賀の向に對して賜ふ御 と興恵奉公の民草の上を 参賀の向に對して賜ふ御 に 2000 で 200 新年廻禮は廢止

軍、日満各機關で

國内/ 関東の不退分子にあられて解消人グループが屢々會合してゐる事質を聞き込みに 合してゐる事質を聞き込みに於って解消人グループが屢々會

本社主催慈善デー 拍手の中、唄と銀幕

C氣集 中

-の盛況

他の昂奮

らの新スターを見ようとする となり場内整理に警察官が 出動する盛況、映 畫「煙 鬼」上映のよち七時半から 近藤伊奥吉、王度兩氏紹介 により四スターは割れるや により四スターは割れるや

六時開幕

感激の抱負

滿映ラッキ

暦の奮勵誓ふ

ット、人氣者空香扇の唄ふット、人氣者空香扇の唄ふット、人氣者空香扇の唄ふり開幕された、國都與行界が一息入れで居る折からとで物凄い人貌の中心となり開場と共に押しかけた観察はどつと一時になれ神込みなしもの社員俱襲部も忽ちったにふくれあかつて仕舞

日通の小火

補別國の四大滿文新聞社の 推薦により康徳七年度の滿 東京新京馬格娟、ミス泰天 高、京都和智能において開かれ た、曾場は開資道の披露曾 は廿六日年後六時半から新 は廿六日年後六時半から新

ースター

ちな拍手を浴びて登場、は どめで立つ輝豪からはにか み乍らもうれしい感激の投 物をのべた、四嬢を舞豪に 語る。

多今晩ら放送

光岡吉林憲兵
分隊長榮轉
吉林憲兵分隊長光岡增養憲兵大佐は新京憲兵隊本部に
兵大佐は新京憲兵隊本部に
兵大佐は新京憲兵隊本部に を設行することになった、 商店縣合景品附大賣出 世帶道具加加蘇陶器 逐金逐品自由 用品 電③四八三八十六五八三番

新京瓦斯需要家各位

今年も 窓々押し迫つて参り

に御是支ない程度のものは成る可く御手廻しよく二十九日か三十日に故障のない様に準備して居りますがあまり多すぎると供給に應じ毎年大晦日は平常の日よりガスの御使用量が激増するので弊社は特難く御禮申上げます ました平素は格別の御愛顧に頂り洵に有

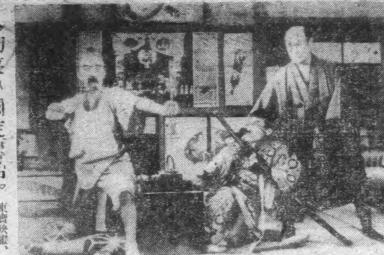
にお正月の御馳走を御料理して頂き度特に御願い申上げます 滿洲瓦斯株式會社

湯タンポト長爐 電話(二)三二六六番 拘

初春の笑殺陣

が展開する、密都キネマ正月番組の次一人が大い 一大 にはいいつ 東野銀治屋、川田養雄等を加へて震響度来、震野銀治屋、川田養雄等を加へて震撃を伸、登藤寅次郎の演出により珍一國定

若 き 悠 情 12.29 4.00 7.31 海 接 渌 1.24 4.55 8.26 72日より27日迄・80銭均一・日曜十時間映



第4年前九時ミス新京の馬 を表現しい夢を結んだよ、計 大日午前九時ミス新京協和會館の には二十五日夜のあじあで一 をなったが、ミス率大廣が がな披露會に臨むこと となったが、ミス率大廣が がたとミス大連子さんの二線 は二十五日夜のあじあで一 をなったが、ミス率大廣が がとミス大連子さんの二線 は二十五日夜のあじあで一 を表現しい夢を結んだよ、計 大日午前九時ミス新京の馬

二日から西廣場供樂部へ
女エンタッー座

会 名力の「私には 会 大がある」配役 大船清水宏監督の新春作品 全のオリデナルになる辛辣 な皮肉と諷刺に満ちた異う 本社を訪れ挨拶を述べた 本社を訪れ挨拶を述べた

12,0) - 3,20 20 6,50 00 8,30 10,00 四十錢

早くもプロマイドの撮影を 赤太衛の滅映現像所を訪れ さんとともに三人揃つて長

2,32 5 24 舟 12,00 2,53 5,34 0 1 50セン均一 富士川の血煙 五郎 正宗 **サ六日より廿七日迄**

心大阪商船凹机

りよりには、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでなるが、は、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでなるが、は、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでなるが、 のでは、 のでな、 のでは、 のでも、 のでも

(日曜末)

初変人情点ステンプーでかんしよ待 電影画の 12.00 3.44 12.20 4.04 1.28 5.22 7,38 7,58 9,15 10,25 赤 恒 源 巌 25日上 5:7日迄 40センギー

本年度ベストテン人選傑作

111

明

彦

1,30 5,00 春 二十六日より二十八日まで

初倒合せ

ス 13

エノケンの森の石松 均錢〇五開公日八廿 間週らなよ



高森大羅大 廣靜柳光日 太三出 黃子子郎郎夫 新 田 實 淡鳥みごり 津清三郎

自当事



篇上のこるたが複きしはさふに春新なかや華 ことをまづめ ちん ぞ ご

週 瀧岡 CI 英太輔郎





術合氣流川遊

至自 月五日 西廣場社員俱樂部

波波を初荒大のの家子の家家と 女砂波波 音川阪家

半二場 圓料

女太流

\$

h

3

潘七

外經濟電報

况

前三場日

担武士がらけがらて、 からのだ。はようよ… かものだ。はような… を思かねのが質の武士 も退かねのが質の武士

『拙者は元來多摩の郷土だ 新角刀を抜き持つて、後で 放の復仇を恐れ、刀背打に して逃がすやうな中途半端 な質似は棲ひだ。悪鬼と呼 なれ、羅刹と嗤はれても、 がれ、羅刹と嗤はれても、

五拾

(三十十日ませ)

い怨みの恐ろしさは、 ながらに酸様が、八大 ながらに酸様が、八大 の底へ落ちられるでご の底へ落ちられるでご 一一的二九

隨分多勢の

電(3)六四六七

四

元結構)変染かつら 10,20 2,08 5,46 9 24 中二日より廿八日迄 一個长

お直しします 五拾六圓 五拾四圓

壹 割 協 和

此の機會に 別 用 誂 命



よあ

なたは

東京作品

B !!集畵映歌行流作 作大の春新船大 大戶光 寺光 信子 演 吉村公三郎監督

關子榮知田村 演主藏惠干岡片 ★ 唄ふは流麗の名畵を轟子の名演! ★多摩川の異彩村田知榮 街道やくざ!本 商切れのいゝ千恵藏の

は卅日まで上映

有

封

切

稍篇

かつら染

改鳥みごり: 宇佐見 淳 一般明·磯野 秋雄 弘子·爆彈 小僧 高映番八十 藝 一日同時封切豫定 一日同時封切豫定 一時別出版 一時別出版 一年別出版 一年別出版 一年別出版 一年別出版 一年別出版 寛壽郎の レンラン日本 ライさせる傑作の中で一番面白い 天狗廻狀 鞍馬天狗シリ

る新しい時代劇は るげられる外交秘 雑新前夜の江戸橋 史!時代が要求す

tit in



新春劈頭 天下無敵の新春第 多 壓する 週陣 0 盛觀 3

tr n J

市 集 型 料 低 行

七日より滿洲國哈爾濱市において續行せらるべしる取極に署名せられたり、最近紛爭ありたる地域におけ混成委員會第八回會議は康徳六年十二月廿五日チタ市 又ソ蒙伽代表部は來月三日テタ ける関境確定に関する商識は順調に進捗したるに鑑み商議は康徳七年一月において開催せられたり、該會議において委員自今後の業務の順序に関す 終了、混成委員會を哈爾濱に移されること」なつたれた滿蒙國境確定に闘する商議は廿五日の第八回會

勅語賜ふ

選舉を行ふ爲め同十一時四 ・ で常任委員を各部に於て ・ で常任委員を各部に於て ・ で常任委員を各部に於て ・ で常任委員を各部に於て

製品價

態よ明

眞寫御の庭家御 さ下命下御てに話電

島正次郎氏(満鐡社員

満業利益處分 は小七日定時總會を開傷 は小七日定時總會を開傷 を和讓可決した、なほ理 を確認の通り満洲重工業 を研課可決した、なほ理

表:製木、印刷 金製品の製

伊旅客機繁落 「ローマニ十六日穀園通」 「ローマニ十六日穀園通」 「マ、ブエノスアイレス間 の定期航空路に就航したローマ、ブエノスアイレス間 の定期航空路に就航したイタリー旅客機は南米からイタリーに向け處女飛行の途 カリーに向け處女飛行の途 コの上空において電響のため火災を起して墜落、乗組 め火災を起して墜落、乗組 もめ火災を起して墜落、乗組

戦線はその後何等の變化 か光錠泊中のドイツ巡邏 とつて撃退された、西部 はつて撃退された、西部 はつて撃退された、西部 がある。

【ベルリン廿六日發園通】

世耕弘一氏(政友久原派)

イツ軍最高司令

冬季攻勢は

支那軍の

悲喜劇

對米飛行機購

傷いた旨を發表された 低いた旨を發表された のた旨を發表された

科科院

兵佛更に註文領増加

敵の惨敗確認

における産金集中の確 関り散時經濟途行上遺 関りでは、明年一月一 関を公布、明年一月一 ので公布、明年一月一 のに制限を加へる必要 用に制限を加へる必要 加工産金買上に第七條 の正産金買上に第七條

は 国下関係事務富局間におい 工原案の作成を急いでをり、 は 国下関係事務富局間におい

と語った と語った を語の統の認もなく極めて平静で支那側宣傳の が一般の銃砲認もなく極めて平静で支那側宣傳の がでしまつた がであるされるされるされるされる。 を語の表ではおろいては城外

斷乎こと

を排撃

侵犯は

金曲や注射

下軍

西部戰線依然

變化なし

へ政府發表

金の使用制限令

親

上海テロ團盆々跳梁

つた。ボーランドは事質のドの援助にあるのではなか

陸海軍感謝

語奉答

を上程一條實素公(火曜) 場一致拍手裡に可決しこれ 時、一致拍手裡に可決しこれ に對し烟腔相より たな今滿場一致をもつて 護案

貴族院本會議(中七 つ を賜はつた旨報告、補場超っ を賜はつた旨報告、補場超った旨報告、補場超 H 兵りして、 東大大震変で、 を代表の型音に基へません、 を代表の型音に変なるところでありますで、 を表すりますで、 を表するところでありますが、 を表するところでありますが、 を表するところでありますが、 を表するところでありますが、 を表するところでありますが、 を表するところでありますが、 を表が表が、 を表が、 をまが、 をまが、

変那事變物證以來三星獨帝國陸海軍は勇康警職 と表世りを奏せりを奏せりを強し、これにその傳功と類し、別の、というと、民に對し深甚なる平高と というと、これにその傳功と、受い、というと、自然の意と表すると、自然の意と表する。

と謝蘇を述べ終つて書記官 より休憩中各部に於いて選 撃した常任委員の報告あり 最後に松平議長より本年の 最後に松平議長より本年の に東京國通)貴族院の陸海 軍に對する感謝決議左の通

阿部内閣の 善處要求決議

各派有志代議士會

要一氏挨拶あつて後協議に 能、各派有志代議士約二百 能、各派有志代議士約二百 廿六日午後零時五十分よ

卅八日午前十時より首相官 題が山積してゐるので特に 題を始め對議會策等重要問 政府打合せ重要問題處理

日 開くこと」なつた の政治始めには宮中の僕式 の政治始めには宮中の僕式

德和

七五

年年

H

+

新

變年

太

ス

係並に新政権を

事高

務用品專門店

林

電話(3) 二一六五・二八四六

つて現地諸問題に關し意 藤公使と會見、長時間に

變

仕

5 候

間此段

記

々岩組気子々岩工務所

般 更

都合に依り

左

及記

謹の

告 通

也 商

號

並

K

候 9 謹

見られ重視せられてゐる ・ 英國政府が歐洲動風に ・ 大り極東問題に力をথく ・ 会議がに乏しいこと ・ の二點より見て今後の英支 ・ の二點より見て今後の英支

康德六年十二月二十五日

大石倫治氏(政友久原派) 木日の出席者は悉く内閣 木日の出席者は悉く内閣 で本日この場で不信の ので本日この場で不信の ので本日この場で不信の 意思表示をなし内閣をし で本日この場で不信の

【上海廿七日饅園通】二十 拳銃狙撃を受け一弾は 一四〇一號ウェルトンダン 香園即死せしめ、何行態 ホール前を通行中の陳銘 胸部に一弾を受け重傷 ホール前を通行中の陳銘 胸部に一弾を受け重傷 たる寄りの病院に携き を氏の頭部に命中そのに

に ち早く選走したが、両氏が 正精衛派に参加救國運動に 虚力してゐた點より見て汪 虚の運動を妨害せんとする

對策協議

・ 大日午後同地において米國 大日午後同地において米國 アジア艦駿司令長官ハート 提督及びガウス上海總領事 との間に再び敷時間に直る との間に再び敷時間に直る を動きないが前回に 一切競表されないが前回に が立るないが前回に

號で上海に躊還上 なほガウ

等につき意見の交換を行

産婦産

新談

條約批准了す 日本イラン修交 ン廿六日發國通】

會は廿六日右日本、イラン國議を締結したが、イラン國議を締結したが、イラン國議

商况程 各地株式市况

る。したがつて、

會計豫算(概)

四、昭和十二年以降地方に 変付し來れる臨時地方財 政補給金は地方税制の改 では代か、これを嚴止し 同時に地方分與稅(假稱) が地方分與稅(假稱) が地方分與稅(假稱) が地方分與稅(服稱) が地方分與稅(服稱) が地方分與稅(服稱) が地方公與金特別會計談及 税制の時に 地方 が地方と同時に 地方 がは一を設置し、地方 がは一を設置し、地方 がは一を設置し、地方 がは一を設置し、地方 がは一を設置し、地方 がは一を設置と がは一を設置と がは一を設置と がは一を計止 がは一を計止 がは一を計止 がは一を計止 がは一を計止 がは一を計止 がない。 がは一を計止 がは一を計止 がない。 がは一を計止 がない。 がは一を計止 がない。 がは一を計止 がない。 がは一を計止 がない。 がない。

VIE.2.0.1

られてるとり のと接觸その行動を注目せ のと接觸をの行動を注目せ

英大使重慶へ 上海サ六日変関通り土 一五日重慶より歸滔した 十五日重慶より歸滔した

能 入 用和十五年

匹蔵入蔵出豫算總領

に鑑みその進退を善臨すべ阿部内閣は大政輔弼の重責

前年兼算比增 1985年1901 1885年1901

同上比減

現下の関係という。 現下の関係を生ました。 の結果を動きなど、 の結果を動きなど、 の結果を動きなど、 のが、その概要は左の如く のが、そので生きない。 のが、そので生きない。 のが、そので生きない。 のが、そのできるとと というでも、 のが、そのできるとと のが、そのできるとと

興ふる限りが節約を回域に高りて昭和十五年度強威に高りては臨時軍海域に高りては臨時軍海域に高りては臨時軍海域に高りては臨時軍海域に高りては臨時軍海域に高りでは極時軍海域に高りでは極い。

なな無限に関する。 を発生り を発展では、 を発展では、 を発展では、 を表現では、 を表現できる。 を表現でもる。 を表現でも。 を表現でも。 を表現でも。 を表現でも、 をまる。 を、 を、 を、 を、 を、

が順中本年度

る追加豫第額を含める

これて

形交换真

重慶に赴くこ

たて成立し

で 大の諸鉄日本軍の敵ではないと を実立勢の結果を興味深くの 見守つてみた當地外人筋で は、今回の冬季攻勢を「支 説は、今回の冬季攻勢を「支 説は、今回の冬季攻勢を「支 武は、今回の後敗を確認し ると謀し敵の惨敗を確認し なて大の諸鉄陷を暴露し到底 なて大の諸鉄陷を暴露し到底

深州派遣部隊 英本土に上陸 「ロンドン廿六日發國通」 ※洲政府が對鴉戲等に参加 せしめるため歐洲に派遣し た最初の深洲部隊は二十六 日午前英國南岸の某港に到 着した、なほその大部分は

官 聯 任 官 聯 任 官 聯 任 官 聯 任 官 聯 任 官 新

と希望し座長の指名に依つ を攀げられたい を攀げられたい 変響があれたい

萬蔵を三唱し午後一時十五と希望し座長の指名に依つ

陸軍步兵中佐

【東京國通】

在の如く競令された

館附武官更迭 駐米日本大使

●大連株式 (短期) 新 東 | 1480 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 1440 | 144 Cash Contact

B (S (金明世日) S 0

帶止・羽織紐・七ツ道具・紙入 全部三年前の正札のまゝ

古本買入所習職と 新智識を! (3)

巖松堂古典部

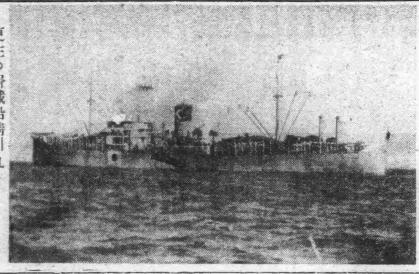
出る四日

以四世末 まする

新京特別市櫻木町一〇 表 2 五五 四

されてある家賃の抑制は時 局下関民生活の安定を圖る ため政府當局に於ても鍵 意これが取締法の制定を急 いであたが何分にも滿洲の いであたが何分にも滿洲の にその制定を見るに至らず にその制定を見るに至らず

本特別市等を に政編各警察署管轄區 に政編各警察署管轄區 に政編各警察署管轄區 に政編各警察署管轄區 に政編各警察署管轄區 に政編各警察署管轄區 に政編各警察署管轄區



正ノ三〇齋藤福蔵(四七) 近月三〇齋藤福蔵(四七) の両氏で多年東京郷で共同 の両氏で多年東京郷で共同 が業を営んでるたが、最近 かまたが、最近 かまたが、最近 かまたが、最近 かまたが、最近 かまたが、最近 かまたが、最近 かまたが、最近 かまたが、最近

市公署並に協和食に望む○一老生)
一方公署並に協和食に望む○一老生)
一方公園に受他の園にもずから『見解の對立』と云舎との間に又他の園にもずから『見解の對立』と云きれは貴から二人族は面はれたり、他人行儀にも自く永く出来るが三人族は面はれたり、他人行儀にも自く永く出来るが三人族は面はれたり、他人行儀にも自く永く出来るが三人族は面はれたり、他人行儀にも一方での直く道中が長く続け協和會員でありや否やさいあるその通りである。市住者皆協和會員也と云うがあるその通りである。市住者皆協和會員也と云うがあるその通りである。市住者皆協和會員也と云うがあるその通りである。市住者皆協和會員也と云うがあるその通りである。市住者皆協和會員也と云うない。

て來た所が出來た、その遠 ちた人が一所に寄り合つた から『マークを着けた人特 から『マークを着けた人特 た政人、會費を納めたと云 ふ人と納めぬ人とが判つて 來た事により、只さへ會員 をしくない自己感に一層の ちしくない自己感に一層の

號一〇五街達安番 五一八一(2) 表代話電館本ルテホ櫻

番三四五一(2) 話電館別ルテホ櫻

一 高々と諸計畫成り曩に政府 一 着々と諸計畫成り曩に政府 一 前のに基いて設立を急いで

八萬 て漸次減少されてある 通道反、飲食店、旅館等の 科響 八井五圓で飲食店等の科料 薬法 拘留十七件、科料二千三百 薬法 拘留十七件、科料二千三百

明春漁村開拓民

東京家族部隊出發

八千八十六圓の多額に上り 十五圓八十八銭で約七分の 一となつてなる、狗禁練東 一となってなる、狗禁練東 人員は日八四百九十三名、

來るべ

き時代

日五十萬二千餘間、 八百七十餘萬回の激 八百七十餘萬回の激 八百七十餘萬回の激 八百七十餘萬回の激 八百七十餘萬回の激 八百七十餘萬四の激

御禮申上げます 一次 占儀

へ店當は料材語重御の月正お通年 六三四六(3)話電行洋清松 同八街 (11八街 11八)

とにか 食べ過ぎな 止月の衛 何

が初め

正月の食物は機して栄養低 が高い上に混食が行はれる ので自然腸の吸收力を高め るにことになる、しかし一 値於ては暴飲暴食と運動不 をこで十分腸の消化力に注 注 次に蜜柑は食べすぎるといけないから、常に袋を出すやうにしなければならないまた餅も不消化物でよく胃にもたれるから、常に腹八にもたれるから、常に腹八にもたれるから、常に腹八にもたれるから、常に腹八にもたれるから、常に腹八にもたれるから、常に腹八にもたれるから、常に腹八にもない。 0

歌留多は輕板の變化である 新京陸上界

見るけれども、 るやらにならぬ へば運命も亦姓 へば運命も亦姓

運命も亦妙なものと云ー でないたものを彼此 でで作つたものを彼此 で作つたものを彼此 で作つたものを彼此 で作ったものを彼此 で作ったものを彼此 で作ったものを彼此

東京無線

取後。

九、三〇(東・率) 經濟市況 一〇、〇〇(大連) 經濟市況 一〇、〇〇(大連) 經濟市況 同、寛新爾(東大) 幼兒の時 間、寛新爾(東大) 幼兒の時 間、寛新爾(東大) 幼兒の時 間、寛新爾(東大) 幼兒の時 10(大連) ※庭の時

此の機會に

命

揃

誂

演藝「鮮語」 大、〇〇(東京) 大、〇〇(東京) 大、〇〇(東京) 大、〇〇(東京) 一子供の時間、不 思護問答(子供 のデャスト隔極部編)解 密理學博士竹仏時男、解 説吉原鎌夫 、、一〇(東京)コドモの 新聞

よう。私は本年頭初の新京 記事の書き出しに返つて見

る趨勢に置かれてあると云の競技者が生れ出でんとす

数へられない、この事から たらうと思ふし、不自由の たらうと思ふし、不自由の たらうと思ふし、不自由の がたらうと思ふ、又非常に少 だらうと思ふ、又非常に少 だらうと思ふ、又非常に少 だらうと思ふ、又非常に少 ながの人には競技會に出場す あったかも知れない、私は 数の人にはがでに

質が證明してゐるだらうざった。このことは以上の事

その一つであり、對外的對區會裡に舉行されたことが常に多數の出場者によつてそれは對內的競技會に於て

對外的對

べき超勢に迫られながらも を、然しこのことは事務局 た、然しこのことは事務局 た、然しこのことは事務局 大、二五 (新京) 講演 「一年を回顧して(四)文學」 古了、長谷川澮 七、〇〇(東・新)ニュース 告知事項 七、三〇(東京) 國民の時間 七、三〇(東京) 選續ラデ オ小説(上)東京選泉 (郷 子文六原作、衛田一夫脚 色) 古川線波一座

迎春常識講座

を物として私に配戦せしめ 数々の競技會を盛賞なる締 があらう。私はこの一年間

X

新の根幹をなしたことがそ が命題と量的に合致し得る だけの量的内容を持つてゐ るだららか、私は深くこの ことはわからない、又何人

多數の中堅選手によつて抗競技に於て新京チーム

得なかつたものや、閉催す 外に行はるべくして舉行し 外に行はるべくして舉行し

いるより

感謝の念を禁じ得 た大會役員諸君に

壹

割

马

今年の實際が具現しな

紹

二十六日より

かつたとしたならばその缺いのに今年の實際が具現しなかったとしたならばその缺断点には数十の陸上側位が新京には数十の陸上側位がが興へられてあるだららかが異へられてあるだららかるは知らないが南横のグランドを除けば兎に角練習したことがないから確實なところは知らないが南横のグランドを除けば兎に角練習し

ij

3.

の番組

「新京放送」

WAH

(日 曜 木)

夏の陳、譽田の森の邀撃戦ころとならず、天和元年のころとならず、天和元年の 羽车眼科 電三一四二五五五

大阪は六文ぎり

のいくな

お直し します

Fi.

現代の職争にも立脈に通用などは、古今を確じて拠ら

わが関では最間時代は別としては 前九年の役が最も長い、鎧 前九年の役が最も長い、鎧 の夜襲も構つてむられない いつそ禁じてしまつた方が いっと云ふので「法度」に なつたらうと云ふ川柳家の 想像なのである

漁網業、業家父子の功によ 前九年の役が平定してから 前九年の役が平定してから で起して後三年の役となっ 大、所も同じ陸奥の関、だ 、所も同じ陸奥の関、 で を起して後三年の役となっ 大、所も同じ陸奥の関、 で 後、今度は八幡太郎美家で にそった者も多い「又來ま した」と再び奥州へ下つて した」と再び奥州へ下つて であらら、昭和 であらら、昭和

熊谷は不承不承の手柄な

この幸村の智謀も、

六文の鏡が切れると負け

「る支那兵のやうなもの」

源平一ノ谷の戦ひ、龍谷直 漢は無官太夫孰盛を組伏せ だが、見れば未だ十六歳の 若上 、薄化駐さへしてゐ るしほらしさに、我子小衣 郷と思ひ合せて討つ氣にな

天王寺表の激戦に勇名を機 はるのな所はお馴染の大文 銭であつた

源平一ノ谷の戦ひ、

種職のと

づきになって館谷首を

がすむと一度にひだ

で数学とを執んだ名句は仲 仲多い、紅戸時代の古川柳にも を調べてみても

九年 前九年

時代のユーモア

%

鎌倉権五郎景政は後三年の 教庫した、敵方で强弓の名 ある鳥海彌三郎に左の眼を 射拔かれたが、少しも属せ ず、眼に立つた矢をそのま まに、當の敵を追ひかけて

戦場悲話である

銭がなくなると大阪しま

五目郎に

に立つた働きをす

る権

見る戦争***

よく擦冶を繰む向

出 協和

三十一日まで 五拾八圓

寸法は合ふ様に 五拾六圓 **九拾四圓**

洋服店 3)六四六七 前

冬の花(きき・三岸節子 含 蕊 集:中里恒子 山茶花と格・茅野雅子 書意の幸福・矢田津世子 の虚榮心を悲しむ 自分の世界 古典ときと佐藤信衛 型家心を悲しむ…中野好夫者:朝鮮の女性…市川源三 日僕の直:崎中雄作 新春の客廳料理:中曽根海子和南だらり…山川朔州 新春によそほふ ・ 壬生漢子 典氏をとに佐藤信衛 東、、青鷺生に、 松年友子 放浪詩 落窪物語完)… 世聖書講義:河上徹太郎 皇上の讃…齋藤茂吉 兄と妹…河盛好藏 大晦日…豊田芸 **②映画界** ●女子競技界 電 の部屋 寫田成男 臓域ゆけざい言熱頭 人牧水を共に 関の情:佐藤奉夫 會公 22 變處理米英ツ動き 然戦火祖國の女性を語 大人気ない心を・西村アヤー 中斐なき羽搏き・昼杉游枝 連 花のない季節 占 記三千六百年にありて 日本女性史 能® ・ 喜志子 京口元吉 林芙美子 業際 阿部知一 條作。素明らしい反響! 川端康常 若山 村上知行 久郎 加清 为 具带

いふものが大

敬語の正し

つけ加へるのである。 「だから神経質だつて言ふ なくちや駄目。勢働者は夢 なくちや駄目。等働者は夢 なくちや駄目。あんたは、 きつとお母さんのお乳の依 お方が足りなかつたと思ふ がよ。ねえ、姿のおつばい 大きいでせう。あなたはこ のおつばい依むといゝわ」 道子は胸をはだけて大き が最近をみせた。嗣手でそ

。「へ」「え」「ゑ」の使ひ分けかってさうだ。「やう」と「よう」とのなされること甚しい。 ついふ字のつくりを正しく書けれること甚しい。

中の多いのに驚くので 学の多いのに驚くので を開発ない。 では気分を害されが 出来ない。 では気分を害されが に関連したが 出来ない。 でもそれが でもそれが でもない。 をもない。 でもない。 をもない。 をもな。 をもない。 をもない。 をもない。 をもな。 をもな、 をもない。 をもな。

0

を なきであらり。だが であらり。だが であらり。だが であると、 製字やあるといふ

そしてさうすることによってがる

ないであらう、と言はうれないであらう、と言はうれないであらう、と言はうれないであらう、と言はうれないでもがけば、ましい貴女は勢んで仕舞つた。

正介はほんたうの勞働者 あつたが、高級な官吏や會 あつたが、高級な官吏や會 あつた。 大騰さといふ奴が あつた。 赤香子との結婚に は敗北した。 しかし奈香子 を自分のものにすることの できた光榮は、この情熱と 大騰さによるものであつた

その夜、庄介は「明日の き、太陽の下で話さりよ」 といつて道子と別れた。道

に於て あなたの朱い花と白い花の 結合は許される しかしそれとてもあなたの 感覚には重すぎる はかい會話であることを知 らればならない

まが負つて上げるから」 養が負つて上げるから」 道子の言葉にはぎをつ! とする强さがあつた。 (()) とする强さがあった。 (()) に燃え上つてゐるものがあった。 (()) に燃え上ってゐるものがあった。 (())

です。」

ために、勝つこのの火蓋を切つ

1,

西谷正夫 運命論者の腕にほられた新 しい神話が 見然と香水の匂ひをたよよ はせてゐる

夫。二本はたしかで

した眼を、すぐ彼の眼に向

正介は負付ることが勝つ に介は負付ることが勝つ にたらの勝利はその時のもの たらの勝利はその時のもの たらの勝利はその時のもの を得かければならない、とか れは自覺してゐた。ほん って彼は無分別に最ひの火 を得なければ、とかれは を得なければ、結果の慘忍さ た彼であつたが、勝つた光榮 た彼であつたが、勝つた光榮 を得なければ、結果の慘忍さ た彼であった。自分を輕蔑 た彼であった。自分を輕蔑 た彼であった。自分を輕蔑

って……」

があり過ぎて仕舞

ふ意味な

に介は に介は にかしこの他に 奈香子が來 しかしこの他に 奈香子が來

い。一本で澤山だ

でも知ってゐなかった。 してゐなかった。 してゐなかった。

庄介は勝利ののちにやつ つてゐる。奈音子との場合 を想ふとかれは戦慄せずに はゐられなかつた。

はどうにもならなくなつて はどうにもならなくなつて はどうにもならなくなつて 病々しい不名譽の敗北をし たのである。

窓越にちらつく 夏の軽衣靴 しもべはたけば まぶしくもねたまし 夫婦みちづれ。 廉潔の中にしばしの假経。 紫煙の渦をまがせ

别

居の

正静

はなれようとしない。

はいまく

で信じ

多の語草

骨を嘘み 量をいとりかきむし 身をかくして りとら

軍歌らを口吟めり 一一九三九●十一一

たっせるのを知つ

内服薬にあらず

注

△政經時評(十二月號) (東京、政經時評証、三 十銭)、 ○日本兒童文化(二四號) 金週報 (四九號) (五

たとへそれであってもいるのだが、土に落ちた花だからすつかり埃にまみれてゐるかも知れない TEL 35153

「知つてる。」
「知つてる。」
「だつたらそれでいゝぢや
はりや見ないでゐりやよか
つたし…抽象的な、外形的
道子は無邪氣といふのか
道子は無邪氣といふのか
道子は無邪氣といふのか

かがのものになりおはせた。のものになりおはせた。いふべきかを迷つてゐる。なぜならわたしはそれを幸福とれが信じつよけてきなが信じつよけてきなかったわたしはみじめである。 かたしはつひに白い花のどである。 がなんになったよりな なるでせらか。

きびしいまでに美しい少女

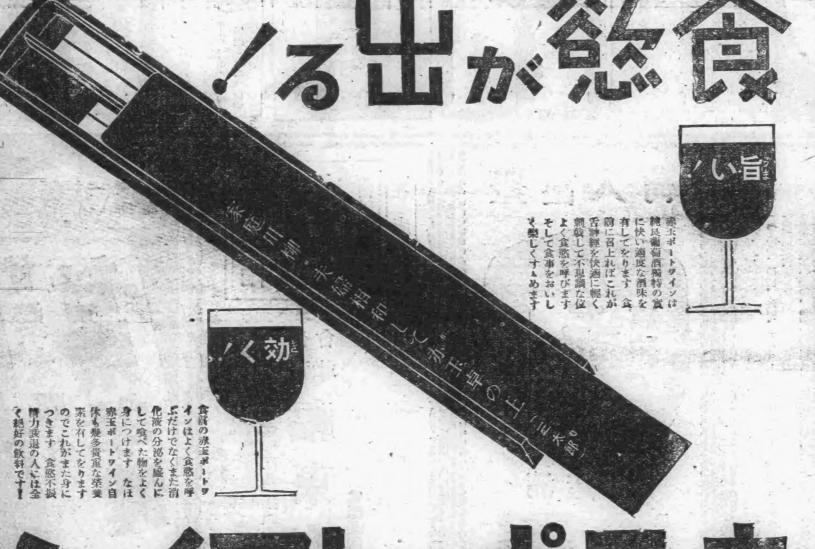
廢品

て安全、何等の危險と副作用なしと本潮獨自の效力である。(使用法は的に消失して再發を防止するのであずる。)を開注は一次が極端である。(使用法は一次が極端を持ちません。 、洗滌、注入藥にもあらずつてウラルゴールは內服藥にあ

普通の慢性、再發は、最初に短音、次ぎに中 症は、短管、中管の天きに長然のれたし。悪性か、或は敷ケ月、

送る影

空瓶が 灰皿とな 全く索的な再生し 物性 爽優芳 國 芳彩 槻 大 阪大 舖木





五年の新春 選邦 ことに二十 千六百年 本書記に二十 千六百年 本書記に 解散の強

材業小松兼松氏が第一 ところは長には嚢に市話議員の ることは

空路も超満

森田國通社長談

また一名も

木炭瓦斯中毒

父子共にあの世へ

だけなのにも拘らず、わだけなのにも拘らず、わだを全社員に通産したいと思つてゐる

けふ電々の披露

十月二十六日の採煖期以來

の室に親子 天署に

末警戒陣固

後十時を期して田村副總監 して蟻一匹選ひ出る際のな り場、風呂屋ニー三流旅館 り場、風呂屋ニー三流旅館 の曖昧なものは片ツ端から

をの功が酬いられ十七日朝 一様津軍司令官から名譽の賞 表を本社講堂に集め、廣濶 表を本社講堂に集め、廣濶 年末同情金 彰金を寄託

今尙市民に耳新しいことで起つた白妻拳銃强盗事件は去る十一月三十日中銀前に

原口事務官来社・駐滅大 修留朝鮮課勤務となった。 原口事務官来社・駐滅大 め次第は次の如くだれるが主なる御用納めるが主なる御用納

好言家垂涎の逸品豊富

月廿五日より世

一日まで

調車

古董品大展觀

が同氏は「これは

謝恩大割引即賣

古

齋骨

京

大馬路

品品

賣

ふは 明春三日まで 御

お休み

年末年始の禮御遠慮申上候 要中に付き

第1本橋通りに

電気機具、オーバー背廣各種あり家具類、モーター、應接セット、

を立てる。 を立てなった。 を立てなった。 を立てなった。 を立てなった。 を立てなった。 を立てなった。 を立てなった。 でである。 をは、一般をでは、 でである。 をは、 でである。 をは、 でである。 をは、 でである。 をは、 でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででなる。 ででな。 で

客附 日藤商事會社社 大会息の忌明に際し金百 北た令息の忌明に際し金百 北大会息の忌明に際し金百 北大会息の忌明に際し金百 北十九圓五銭を、また某少 大子から五圓を伺れる滿洲軍 大子がら五圓を伺れる滿洲軍

やまご號

京課長稻川利一氏は二十六 京課長稻川利一氏は二十六 京課長稻川利一氏は二十六

一本

四十五錢

通】大阪遷信局入電=十七 日午前十時十二分(補州時間)バソコックを出發した 前作親善機やまと號は午後 等時四十五分(補州時間)ラ 稻川驛長歸任

何率本店同樣の御愛顧賜度此段御挨拶旁々御通知申上佚 敬具通り新京支店を開設し新京特別市に於ける配給業務處理可爲致候間陳者弊社儀平素は格別の御高庇に預り難有奉深謝候 扱今般左記の謹啓 益々御清穆之段奉慶賀候 康徳六年十二月二十七日

滿洲生活必需品飲新京支店新京特別市東三條通三十二番地(舊本店跡)

全商品景品付聯合大賣出し 粧道房用 品具具品 室町(東一條通り) 電③二五四七番

收入其の他詳細は面談の上年齢二十歳より三十歳位迄の美人の方を數名 多忙に付御座敷仲居さん募集

年中に何とかしよう 中中に何とかしよう 地で、一方字の輸送 関に當局は悲鳴をあ のが、一方字の輸送 とれまた超議員、今 をだの列車も鈴成り をが、一方字の輸送 とれまた超議員、今 をが、一方字の輸送

職光 を二十

大同大街二〇二(大興ビル内)

電話②四六二五番

死が二件も設生してをり、 同暑では機會ある毎に木炭 同暑では機會ある毎に木炭 同場では機會ある毎に木炭 見島 輻蛤良 都溝 邊村 生れ 発配質六〇二滿映社宅居住

吉円院長立會のもとに死亡 大型に依つて午前二時頃 変息死した上に、オンドル 変息死した上に、オンドル

引火窒息による籐死と判明を燃やし過ぎた爲め衣類に

お正月用

氣き天け の。 温ふ氣の

ぶの 西寄りの風晴 最高零下二度六一時妻 御引受致力 祝町三丁目二 魚

度し、小學校卒業以上の日本內地人男子たること 新 京 本 本

電話③六八〇五番

料學保温衣

入封綾十五込申おへ師本

新京唯

一の専門店の良き琴三味均

献 販賣

温泉阁

